



平成 30 年 5 月 1 日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機
代表者名 代表取締役会長兼社長 石川 隆一
(コード番号 7719 東証第2部)
問合せ先 常務執行役員管理担当 猪野 久仁朗
(TEL. 03-5207-6760)

平成 30 年 2 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えたことに関するお知らせ

当社は、本日平成 30 年 2 月期決算短信の開示を行いました。当該開示が決算期末後 50 日を超えた理由および改善への取組みにつきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 2 月期決算短信の開示が決算期末後 50 日を超えた理由

当社は、これまで決算期末後遅くとも 45 日での開示に向けた体制で決算作業を行ってまいりましたが、平成 30 年 2 月期決算につきましては、平成 30 年 4 月 11 日付「平成 30 年 2 月期決算短信の発表の延期に関するお知らせ」、4 月 17 日付「平成 30 年 2 月期決算短信の発表の再延期に関するお知らせ」および 4 月 24 日付「平成 30 年 2 月期決算短信の発表の再々延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、昨年元役職員の不正行為が発覚した中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司(以下「無錫三和」といいます。)において、決算・経理プロセスの改善の一環として現地の外部監査人(以下「現地監査人」といいます。)を変更していたところ、監査業務の引継ぎ(従前の IFRS 調整仕訳についての新たな現地監査人の確認)、無錫三和における売掛金の残高確認手続き等が想定よりも遅れていたことに加え、親会社である当社において現地監査人の監査が順調に進んでいると過信し、本年 4 月 3 日の監査役の現地往査までその状況を確認できていなかったこと、無錫三和の経理体制の改善・整備が遅れていて、当社のバックアップ体制も十分でなかったことから、決算作業の遅れを直ちに挽回することができなかったこと、無錫三和および当社の財務・経理担当者がそれぞれ前任者との引継ぎが十分でなかったこともあり、新たな現地監査人とのコミュニケーションに想定以上に時間を要したこと、無錫三和における内部統制の運用が不十分で、必要な帳票類の確認・整理に時間を要し決算スケジュールにも影響したことなどから、決算の確定が大幅に遅れ、決算短信の開示が決算期末後 50 日を超えることとなりました。

2. 改善への取組みについて

当社は、昨年 8 月に過年度の決算短信等を訂正した件につきまして、平成 30 年 3 月 26 日付で東京証券取引所へ改善報告書を提出し、同報告書に記載の再発防止に向けた改善措置に取り組んでおりますが、未だ改善途上であり、今回の事態を招いたことにつきまして、決算発表の遅延が関係各位に多大なご迷惑をお掛けするものであることを深く反省し、再度かかる事態が起こることのないようにするために、会計監査人の指摘事項等を参考にして改めて当社および無錫三和の経理体制および内部統制体制を見直し、以下の再発防止策を実行し、会計監査人ならびに無錫三和の経理部門および現地監査人と緊密な連携を取りつつ、決算発表の早期化に向け社内体制の整備・充実を進め、皆様の信頼回復に努める所存であります。

- ① 無錫三和の決算財務報告プロセスの見直し
- ② 会計監査人および無錫三和の現地監査人との連携の強化
- ③ 当社および無錫三和の経理体制の拡充およびスキルアップ
- ④ 当社グループの内部統制体制の改善および強化

株主の皆様はじめお取引先および関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますこと深くお詫び申し上げます。

以上